

- (1) 答えを分数でかくときは仮分数、帯分数のどちらでもよい。
また、答えの分数は約分して、もっともかんたんなかたちでかくこと。
- (2) 問題によって必要なのは、定規、コンパスを使うこと。
- (3) 解答用紙の式の欄(らん)には要点をかくこと。補助的な計算は余白にかくこと。

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) $30 - (3 + 4) \times (5 - 2) =$

(2) $\div \left(1\frac{1}{2} - \frac{1}{3}\right) = 3$

(3) $2\frac{3}{4} : \frac{5}{6} =$ $: 10$

(4) $2026\text{秒} \times 5 =$ 時間 分 秒 です。

(5) Aさんは所持金の60%の商品を買ったあと、おこづかいで1000円もらいました。

その後の所持金の15%を使ったところ、1615円が残りしました。はじめの所持金は 円です。

(6) 7人のテストの得点が30, 23, 28, 15, 19, 8, 14でした。平均点を小数第2位で四捨五入して求めると、

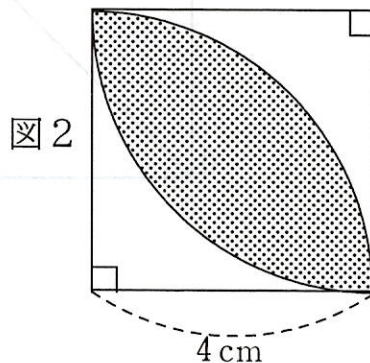
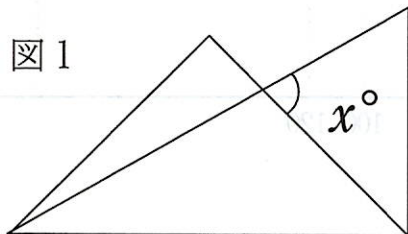
点です。

(7) 0, 1, 1, 2, 3 から3つ選んでできる3けたの整数は 通りあります。

(8) たての長さが2100 m、横が1500 mの長方形の土地の面積は km^2 です。

(9) 図1は2種類の三角定規を組み合わせたものです。印のついた角 x の大きさは 度です。

(10) 図2で、ぬられた部分の面積は cm^2 です。ただし、円周率は3.14とします。

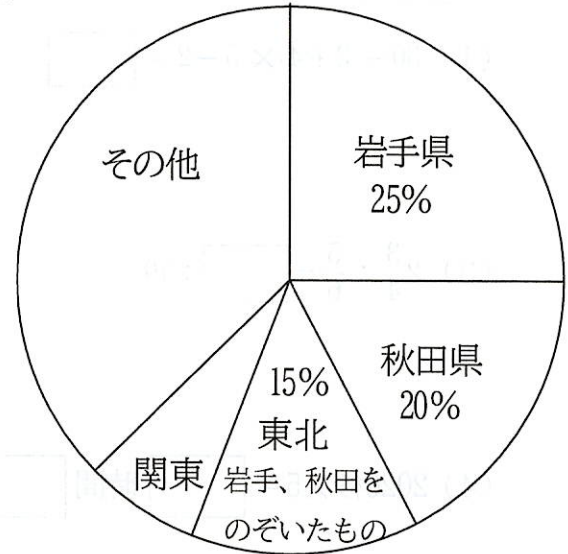


2 右の図は、ある年の47都道府県におけるツキノワグマ出没件数の割合を円グラフに表したものです。秋田県は3,000件の出没件数があり、全体の2割を占めています。次の問いに答えなさい。

(1) ツキノワグマの出没件数を求めなさい。

(2) 関東では900件の出没件数が報告されました。これは全体の %の割合です。

に当てはまる値を答えなさい。



ある年のツキノワグマ出没件数

3 次の図形をコンパスと定規を使ってかきなさい。ただし、作図に使用した線は消さないこと。

(1) 解答用紙の直線ABを1辺とする正三角形

(2) 解答用紙の直線CDを1辺とするひし形

4 太郎さんは高さ720mの山を9:00から登り始めました。ふもとからA地点までと、C地点から山頂までは上り坂で、A地点からB地点までは平らな道、B地点からC地点までは下り坂です。

下のグラフは横じくを時間、たてじくを高さとしたときの太郎さんの登山の様子を表しています。

次の問いに答えなさい。

(1) 平らな道を何分間歩きましたか。

(2) B地点からC地点までの道のりを、ふもとからA地点までの1.25倍の速さで下りました。

C地点の高さは何mですか。

(3) C地点から山頂までの道のりを、ふもとからA地点までの0.7倍の速さで登りました。

山頂に着いた時刻は何時何分ですか。

